

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-ア	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
施策	②情報社会に対応した教育の推進			
主な取組	ITアイランド推進事業	実施計画 記載頁	367	
対応する 主な課題	加速度的に進展する高度情報通信社会において、情報通信技術やITリテラシーは今後生きていく上で欠かせないツールとなっていくことから、情報教育の更なる充実や、教育の情報化を推進する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	県内の小中高生に対する情報通信関連の教育を実施することにより、本県の将来の情報通信関連産業を担う人材を育成する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29~	実施主体
	15件 開催件数				→	→	県等
	児童向けIT技術体験教室等を通じた幅広いIT教育の機会提供						
担当部課	商工労働部情報産業振興課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
ITアイランド 推進事業	50,109	50,046	企業や学校と連携し、小中高生を対象にIT啓発のワークショップを開催した。【県単等】	再掲 3-(3)-ウ 186頁 3-(12)-エ 310頁 5-(5)-7 376頁
活動指標名			計画値	実績値
開催件数			15件 (24年)	31件 (24年)
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	ワークショップ等の開催によりIT業界の将来を担う人材を育成し、IT業界への関心を高めている。それにより、IT業界の人材を支える基礎となる情報系の大学や専門学校、高専等への進学率を高める。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
ITアイランド 推進事業	50,109	企業や学校と連携し、小学生~中学生を対象にIT啓発のワークショップを開催する。【県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年同様、取り組みの推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
—	—	—	—	—	—
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
進出企業による新規創出雇用者数	20,212人 (22年度)	21,758人 (23年度)	23,741人 (24年度)	↗	—
状況説明	大学等の情報系人材輩出数(定員数)は堅調に推移しており、情報関連産業での雇用者数も増えている。 本事業は児童対象であるため事業の効果が出てくるのがまだ先になるが、小中高生の段階からIT業界に関心を持たせ、将来のIT業界を担う人材を育成していくことは重要である。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

現状、大きく変更が必要になる要因はないが、ロボット教室やアニメ教室のような体験型は参加率が高いが、インターネット安全教室のような講義形式のものは参加率が低い傾向がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

講義形式のものでもITリテラシー等の向上に必要であるため、参加募集の形式を検討する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

講義形式の講座については、一般希望者を募る形の募集ではなく、教育庁等の教育関係部署から学校単位での募集を行い、参加率の向上を図る。